



本年もよろしくお願ひいたします。始業式の話

新しい年を迎え、3学期が始まりました。

始業式では、1月1日の夕方4時10分ごろに起こった能登半島大地震の話をしました。保護者の皆様や地域の皆様の中には、アラーム音の後のふわっとした気持ちの悪い揺れに、約13年前の東日本大震災が頭によぎった方も多いのではないでしょうか。大変な地震が起こったのだらうと思いました。その後伝えられるニュースで痛ましい被害の状況が少しずつ明らかになってきました。地震・津波・火事・がけ崩れ・地割れ・建物の崩壊、ガス・電気・水道等の寸断。たくさんの死者や安否不明者。必死の救出や過酷な避難。穏やかなお正月を一変させる出来事でした。今後長期にわたる助け合いや支援が必要です。それとともに、私たちも備えをしておかなければならないこと、つけておくべき力があることを話しました。考える力、判断する力、行動する力、辛抱する力、協力する力、寄り添う力。いろいろな力を付けていくことの大切さを話しました。今年最初の日のことを心に留め、みんなで頑張っていきたいと思います。



霜の降りる中、花壇の菜の花が咲いていました。

大谷選手からグローブが届きました!お披露目会

ニュースでも大きく取り上げられていましたが、アメリカの大リーガーとして活躍している大谷選手から子どもたちにグローブが届きました。右投げ用2つ、左投げ用1つです。メッセージも同封されていました。始業式の後、子どもたちに紹介しました。「野球しようぜ!」の言葉で結ばれたメッセージを読み上げ、少年野球チーム井戸堂ファイターズの子もたちにも協力してもらい、キャッチボールのデモンストレーションをして盛り上がりました。その後グローブは、学級ごとに回し、見たり触ったりしてもらっています。体育の授業やクラブなどで使用する他、野球チームの体験会でも使ってもらいます。お手紙や写真は職員室前に飾りました。野球に限らず、自分の好きなことや得意なことを見つけ、努力できるってステキですね。いろいろなことにチャレンジしていきましょう。

